

\* 1999年1月改訂（新様式第1版）

日本標準商品分類番号	
8 7 5 2 0 0	
承認番号	(61AM)3862
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年11月

貯法	できるだけ湿気を避け、直射日光のあたらない涼しい場所に保管のこと。開封後は特に湿気を避け、フタをよく閉める等取扱いに注意のこと。
----	--

使用期限：外箱・容器に表示

## 漢方製剤（疎経活血湯）

# 太虎堂の疎経活血湯エキス顆粒

### 〔組成・性状〕

本品7.5g中

日局トウキ……………2.0g	日局ポウフウ……………1.5g
日局ジオウ……………2.0g	日局リュウタン……………1.5g
日局ビャクジュツ……………2.0g	日局ショウキョウ……………1.5g
日局センキュウ……………2.0g	日局チンピ……………1.5g
日局トウニン……………2.0g	日局ビャクシ……………1.0g
日局ブクリョウ……………2.0g	日局カンゾウ……………1.0g
日局シャクヤク……………2.5g	イレイセン……………1.5g
日局ゴシツ……………1.5g	キョウカツ……………1.5g
日局ボウイ……………1.5g	

上記生薬より抽出した水製乾燥エキス5150mgを含有する。添加物として日局乳糖、日局ステアリン酸マグネシウムを含有する。

性状：本品は淡茶色～灰褐色の顆粒剤で、特異なおいがあり、味はわずかに甘苦い。

\* 識別コード： *Tai* TM-53

### 〔効能・効果〕

関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛

### 〔用法・用量〕

通常成人1日7.5gを3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

### 〔使用上の注意〕

#### 1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 著しく胃腸の虚弱な患者〔食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれるおそれがある。〕
- 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者〔これらの症状が悪化するおそれがある。〕

#### 2. 重要な基本的注意

- 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

#### \* 3. 相互作用

##### 併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。 （「重大な副作用」の項参照）	グリチルリチン酸は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

#### 4. 副作用

\* 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

##### (1)重大な副作用

- 偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- ミオパシー：低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

消化器：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等  
があらわれることがある。

5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量する  
など注意すること。

\*6. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しない  
ことが望ましい。〔本剤に含まれるゴシツ、トウニンにより流  
早産の危険性がある。〕

\*7. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験  
が少ない〕

〔包装〕

500g、2.5g×252包

〔文献請求先〕

太虎精堂製薬株式会社  
〒651-0076 神戸市中央区吾妻通2丁目1番27号  
TEL (078) 232-1015 (代)